

CONTENTS

戦後60年企画「沖縄写真館」…………… 2
1940年代 青空教室からの出発

県政フラッシュ…………… 4

特集1…………… 6
ご協力ありがとうございました
第46回 米州開発銀行IDB 年次総会
第20回 米州投資公社IIC 年次総会

特集2…………… 9
皇太子殿下がご来県

特集3…………… 10
正しく理解 老人保健制度をかきこく利用しよう

ハイサイうみとも 海のともだち…………… 12
「アカホシカニダマシ」

うちな～カこぶ…………… 14
ビーチサッカーチーム「ソーマ ブライア」
代表 加登永一 さん

県のうごき1…………… 16
ゆめ育て 人を育てる 共同企画

県のうごき2…………… 17
始めます！ おきなわ県政出前講座

情報ひろば…………… 18
おしらせ

お届けします！ わした便り…………… 20
大宜味 大宜味の若夏の風物詩「オクラレルカ」に誘われて
伊江島 夕日とロマンのフラワーアイランド

石獅子見聞録…………… 21
東村慶佐次(げさし)

表紙写真
沖縄の海と島と空の「やすらぎ」をテーマにした写真を
紹介します。
6月号表紙写真【西表島】
カメラマン :北島 清隆 <http://k-kitajima.net>

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の行政についての情報や、
県内各地域の情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝え
する冊子です。
公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設で
ご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗
で無料配布しています。

沖縄県広報協会(県広報課内)TEL:098-866-2020

沖縄写真館

一九四〇年代

青空教室からの出発
教育機関設立

第二次世界大戦の終了から六十年の
今年、本誌では戦後から一九七二年五
月十五日の沖縄の日本復帰までの様子
を写真を中心に紹介します。
沖縄県公文書館の協力の下、戦後の
沖縄を明るく、たくましく生き抜いた
人々の様子を年代順に紹介します。



再開した学校 1945

収容所地区を中心に学校が再開された。
沖縄市(占領初期沖縄関係写真資料 陸軍03 02-32-3)



百名孤児院の子供たち 1949.3.14

男子寮のベッドに座る百名孤児院の男児
玉城村百名(占領初期沖縄関係写真資料 陸軍18 04-52-2)



沖縄文教学校 1945.12

翌月の開校に向けて、文教学校の看板の仕上げをする米兵
うるま市田場(占領初期沖縄関係写真資料 陸軍12 03-60-4)

米軍が上陸してまもなく、石川、コザ、久志などに
民間人収容所が設置されましたが、これらの地域を中
心に学校が再開されます。いわゆる「青空教室」で、
教科書や鉛筆などの教材も乏しいなか、学校は、戦火
を逃れてきた子供たちを保護する役割を果たしました。
また、戦争で家族と離散した子供たちは、各地に建
てられた孤児院で新しい生活をスタートしました。
戦争が終わり、復興のための人材確保の動きも本格
的に始まりました。

一九四五(昭和二十)年十二月には、現在のうるま
市田場に警察官訓練所が開設、翌年一月には、教員養
成機関として沖縄文教学校、また、同年五月には現在
の沖縄市に看護学校が設立され、戦争で勉学を中断し
ていた若者たちが戻ってきました。校舎は、米軍払い
下げのコンセット(軽金属で組み立てたかまぼこ型の
兵舎)やテント造りで、夏の蒸し風呂のような暑さと
相次ぐ台風で悩まされる学習環境でしたが、若者らは
復興への思いを胸に技術習得に励みました。

これら養成機関は、後の警察学校や看護学校に、ま
た、沖縄文教学校は、沖縄初の高等教育機関として設
立された琉球大学へと引き継がれ、各分野で戦後沖縄
の復興・発展に大きく貢献しました。



沖縄中央病院付属看護学校 1950.11.1

40人の卒業生を送り出した看護学校卒業式
沖縄市胡屋(占領初期沖縄関係写真資料 陸軍25 05-48-2)



青空教室での授業 1945.4.15

黒板に書かれた「アイウエオ」の文字が見える。
沖縄市島袋(占領初期沖縄関係写真資料 陸軍29 06-09-2)

このコーナーの写真の使用・転載等
につきましては沖縄県公文書館
☎098-888-3875
までお問い合わせください。